

市川市史

ムラとマチ

歴史編Ⅱ



目次

口絵

まえがき

凡例

第1章 ■ 最古の狩人とそのくらし…………… 1

第1節 ローム層に潜む文化…………… 2

第2節 石器の種類と地域色…………… 25

第3節 旧石器時代から縄文時代へ…………… 34

第2章 ■ 縄文の海と貝塚…………… 43

第1節 貝塚の時代…………… 44

第2節 市川の海と貝塚…………… 59

第3節 縄文時代の生活道具…………… 78

第4節 食料資源の獲得と貝塚の形成…………… 97

第5節 縄文人の身体…………… 118

第6節 地域間の交流と縄文文化の変質…………… 132

第3章 ■ 農耕社会の出現とムラの変貌…………… 137

第1節 稲作のはじまりと環濠のムラ…………… 138

第2節 葛飾の覇者の出現とムラの変動…………… 158

第3節 国府をめぐるマチとムラ…………… 172

第4章 ■ 平安末から戦国時代のムラとマチの姿と祈り…………… 199

第1節 中世房総の荘園公領と環境…………… 200

第2節 鎌倉時代の市川…………… 210

第3節 南北朝～室町時代の市川…………… 230

第4節 戦国時代の市川と郷村…………… 244

第5節 板碑にみる中世市川の信仰…………… 267

第5章 ■ 近世における人々の諸相…………… 289

第1節 近世のムラの成立と展開…………… 290

第2節 『水戸佐倉道分間延絵図』・石塔からみた

市川の村と町の空間…………… 301

第3節	『江戸名所図会』にみる街道沿いの村	325
第6章	海と川沿いの村の生活	333
第1節	行徳塩と諸産業	334
第2節	海と江戸川と行徳	370
第7章	村を超えて動き出す百姓たち	397
第1節	地域の有力者―鬼越村五兵衛の江戸進出―	398
第2節	幕末維新期の激動を駆け抜けた与吉の生涯 ―領主朝比奈家家臣および御内後見人との闘い―	407
第8章	御用留にみる幕末維新	429
第1節	御用留の世界―曾谷村と北方村の営み―	430
第2節	藩領大野村の生活	439
第3節	北方村からみた戊辰戦争期	452

掲載写真図表一覧	464
参考・引用文献一覧	473
執筆分担	
執筆者一覧	
協力者・協力機関	
市史編さん事業関係者	
索引	

市川市史 歴史編 II

—ムラとマチ— (通巻2)

令和7年3月28日 発行

編 集 市川市史歴史編II編集委員会

発 行 市 川 市
千葉県市川市八幡1丁目1番1号

印 刷 株式会社 弘 文 社

定価 1,000 円 (内税)

Copyright (C) 2025 City of Ichikawa

※本書に掲載した写真および資料の無断転載ならびに無断複製は、著作権
法上での例外を除き禁じられています